

# 国際規格 (ISO/FDIS 9001) の主な変更点

(株)GICジャパン  
審査部

## 1. 規格の[章]構成を他の規格と統一

章立てを他の規格に合せ第1章から第10章に統一されました。  
他の規格、EMS、ISMS及びOHSAS(改定中)等も第1章から第10章です。

## 2. 環境の変化に対応するQMSの構築と維持

組織の状況の理解とその理解に基づく適用範囲の決定  
組織を取り巻く環境の変化を把握し、組織の課題(組織内外の課題)を決定し、その課題を解決する。

## 3. プロセスアプローチの適用推進(質的な適用の推進)

目的・目標を見据えてPDCAを回し、組織の価値及び組織の成果のスパイラルアップを図る。  
リスクと機会を考えたプロセスアプローチを取り入れる。

## 4. リーダーシップの強化

組織の目的・目標を効率的に達成するための、各階層の管理者の強力なリーダーシップが求められる。

## 5. 組織の目的・目標、顧客満足の上昇及び組織成果の重視

社会的責任を果たしつつ、組織の全ての活動を組織価値の増進に集中する。

## 6. QMSの柔軟性の向上

組織の要求事項及び文書化(文書・記録)の程度を主体的に決定する。  
組織の主体性をこれまで以上に重視する。

## 7. サービス業への配慮

製品製造とサービスの提供の各々の特性に配慮する。

## 8 . QMS固有の要求事項の強化

規格の特性(品質)を基盤とし、各要求事項をより有効的に活用する。